

名 称	2018年度 第1回ほどがや市民活動センター評議会 議事録	
日 時	2018年12月21日(金) 10:00~12:00	
場 所	ほどがや市民活動センター(アワーズ) ミーティングスペース	
出席者	評議会委員	浅井 経子 委員 (八州学園大学 生涯学習学部 教授) 有元 典文 委員 (横浜国立大学 教育学部 教授) 小倉 敬子 委員 ((公財)かわさき市民活動センター 理事長) 近藤 博昭 委員 (横浜商工会議所西部支部 支部委員) 竹迫 和代 委員 (参画はぐくみ工房代表兼ファシリテーター) 畑尻 明 委員 (保土ヶ谷区連合町内会長連絡会 会長)
	保土ヶ谷区役所	地域振興課 地域振興課長 大山 敏彦 " 生涯学習支援係長 鈴木 明彦 " 生涯学習支援係 深谷 修人 " 生涯学習支援係 西村 佳那子 " 生涯学習支援係 井山 雅子
	協働運営会議	代表 清水 蓬山
	管理運営業務 受託者 特定非営利活動法人 横浜市民アクト	理事長 福島 伸枝 監事 佐藤 洋志 ほどがや市民活動センター センター長 吉弘 初枝 " 職員 伊勢 俊枝 " 職員 穂積 邦明 " 職員 北川 有紀

議題	1 2019年度 ほどがや市民活動センターの運営及び業務について 2 アドバイスシート記入 3 その他 意見交換
資料	1 2018年度 ほどがや市民活動センター 第1回評議会委員・関係者名簿 2 2016年度から2020年度までのほどがや市民活動センター5ヶ年の事業展開について 3 2019年度 ほどがや市民活動センター 事業計画案 4 ほどがや市民活動センター評議会会則 5 ほどがや市民活動センター協働運営会議会則・組織図

\* 大山地域振興課長の挨拶に続き、評議会会則第8条に基づき、委員6名全員出席のため、本評議会の成立が確認された。

\* 2018年度第1回評議会議事録を、ほどがや市民活動センターホームページに掲載する旨を出席委員全員の了承を得た。

\* 評議会会則第5条に基づき、満場一致で本評議会の議長に小倉委員を選出した。  
また、議長からの選出により、浅井委員が副議長に任命された。

## 議題 1：2019 年度 ほどがや市民活動センターの運営及び業務について

吉弘センター長より、2018 年度事業および 2019 年度事業計画案について説明を行った。

### 【委員からの質問および意見と回答】

#### 地域の活動団体・施設・機関等訪問について

(質問) 団体の訪問は、どのような目的で何団体、何%訪問したか。

(回答) 今現在、今年度の件数は出ていない。単にアワーズ内で話を聞くだけではなく、活動を実際に見て現場の空気を知る事を目的にしている。例えば、情報紙のインタビューを兼ねて、「ほどがやガイドボランティア」のガイドの活動を訪問。団体の方にも喜んでいただき関係性も深まることで、普段共有できない話ができるようになった。

(質問) 団体の中には明らかに政治色が強いところもあるのでは。精査しないのか。

(回答) 実際にはグレーな団体はある。企業からの相談もある。ただ、それらを単に排除するのではなく、目的や活動内容等を聞き出し受入れ、コミュニケーションをとりながら、公益性への理解を促す対応をとっている。

#### みんなの広場(活動団体のフォローアップ講座)について

(質問) みんなのひろばについては、2019 年 1 月開催分が初回になるのか？

(回答) 2019 年 1 月開催分が初回になる。これまで団体と会話をしてきた中で、団体の高齢化や、仲間が増えないといった課題をあげられることが多く、日々の活動すること自体が目的化している様子が伺えた。昨年度、一昨年度と「チラシ作り」や「会議のすすめ方」をフォローアップ講座として企画し、ワークを通して「活動の目的」を見返すような内容で実施したが、参加者は「ノウハウ」の習得を目的として参加するため、本来意図したフォローアップにはつながらなかった。そこで、今年度はまず環境問題を切り口として「みんなで考える」ことを通じ、課題や現状を共有、団体と団体、団体と個人がつながり、何かを形にしようとする時、必要に応じてフォローアップできるような仕組みを考えた。

(意見) 事業計画案にみんなのひろば（フォローアップ講座）と書かれていると、中身と違和感があるので（フォローアップ講座）は削除した方がわかりやすい。

(意見) 発想は素晴らしいと思う。ただ、ハコとしての仕組みが見えてこない。

#### ほどがやサンプラプロジェクト

(質問) ほどがやサンプラの「若い世代」とは、どの位の年齢をターゲットにしているのか？

(回答) 昨年から大学生がアルバイトで 2 名入り事業を担当、今年は夏に 10 日間の短期インターンで学生 2 名の受入れも行った。また、相談をきっかけに青少年の地域活動拠点事業を行う団体や地域の学習塾も生徒たちに関わらせたいと企画に参画するようになった。そうした経緯を踏まえ、それらの若手が参画できる仕組みづくりをしてきた。企画作りに関して 20 代 30 代が中心になると考えている。

### はぐくみプロジェクト 施設間連携促進事業地域デザインセミナーについて

(意見) 施設間の連携促進事業に、昨年と今年度と関わり、各施設の職員の熱意や空気感が変わってきているように肌で感じている。熱心な施設と不熱心な施設との差が今後より浮彫になってしまうのでは。

(回答) 各施設の勤務体制もあり、現状では参加必須とはしていない。参加による差が開いてしまう点は区としても考えている。1月に各施設へアンケートをとるので、その結果を踏まえて今後の開催時間等の調整を図りたい。

(質問) どの範囲の施設に声をかけているのか？

(回答) 区内 28 施設に声をかけている。今は直営か、区から委託している施設を対象としてきたが、今後は他の所管施設にも呼びかけたいと思っている。

(意見) 川崎では施設の管理運営者の違いにより分けて実施するほか、全体が集まる機会も設けている。第3セクターの場合、縦割り体制に横ぐしを刺して互いの強み弱みを知ることが重要。また、そうではない組織が運営にいる場合は現場をよく知っているなどの強みがある。

(意見) 連携の取組は、他ではできない素晴らしい取組である。施設にとっては参加することが評価やメリットにつながらないと参加が増えないのでは。おいしいものを持って帰れるようなテーマ設定が必要。

### はぐくみプロジェクトについて

(意見) 事業計画にある事業の並びについて、企画体験をする「はぐくみ塾」と、初めての方向けの「地域デビュー講座」は逆に表記したほうがいいのか。

(回答) どちらも区民が地域や人を知り一緒に活動を始めるきっかけの事業。地域デビュー講座に参加して知り合った方々が具体的な活動へ移行する時に「はぐくみ塾」を案内できればと考えた。ただし、「はぐくみ塾」の中にも初めての方がいるので、必ずしも「地域デビュー講座」から「はぐくみ塾」というラインにはならないと考える。

(意見) 地域デビューに関して、リタイア後の方向けに「仲間づくり」という見出しをいれてもいいのでは？

### 地域デビュー講座とみんなの広場の違いについて

(質問) 地域デビュー講座の内容とみんなの広場の内容はかなり被っているのでは。どのようにアプローチの違いをつけていくか。棲み分けはどのように考えているか。

(回答) 地域デビュー講座については、その前提として、初めての方にとって、いきなり「つながる」「何かを作る」のではなく、まずは「外に一步出てみる」ことを目的に設定した。また、後日談として「オフ会」を開催、講座に参加したメンバー同士が親しくなったり、今後も活動につながることをしたいという参加者も出てきている。

みんなの広場も似てきているところはあるが、実際に講座終了後の反応や雑談からその人たちの強みを把握して、次の展開を作りたいと考えている。

(意見) 地域デビューとみんなの広場、それぞれのターゲットが定まっていないのでは。フラットに参加したい人と、目標を明確にして活動をしたい人に分けて展開してもいいのでは。

(回答) 今回のきっかけとして、日頃の団体との会話から、会員の高齢化が一つの壁になっていると感じてきており、それに寄り添って課題と向き合えたらという発想で現在の企画に至っている。団体の継続でなく活動の継続を考えている。

(意見) 団体が長年にわたる活動で培った貴重な経験や情報などを、アワーズが若手につなげていく場を作ることで新たな活動を生み出していけると良いのではないか。

#### まなぶん祭りの参画について

(意見) まなぶんについて、盛況であったのは良かったが、車の出入りがあったことが気になった。事前調整はしていると思うが、せめて開催時間は出入りしないようにしてもらうなど、もう少し配慮した調整をしてもよいのでは。

#### アワーズの PR について

(意見) 事業目標に関して広報も精力的に行っていて感心している。能動的な態度が表れていてよい。

(意見) これだけ良いことをして、何故保土ヶ谷区民はアワーズの事を知らないのかと思う。

#### その他意見

(意見) 市内にははまっ子もあるが、保土ヶ谷ではどの程度連携しているか。川崎では児童館などと市民活動団体が連携しているので、そうしたところから事例をつくれるのでは。

(回答) 今のところあまり情報をつかんでいない。

議題 2 : アドバイスシート記入

議題 3 : その他 意見交換

- ・北川より「ほどがやサンプラプロジェクト 2018」の開催報告を行った。
- ・協働運営会議代表清水氏より、挨拶をいただいた。
- ・第 2 回評議会日程調整を行い、3 月 27 日 (水) 10 時から開催することに決定した。